

貯法：室温保存，湿気を避けて保存  
使用期限：外箱等に表示の使用期限内に使用すること

承認番号	21900AMX00143000
薬価収載	2007年6月
販売開始	2007年8月

A T P 製剤

# A T P 腸溶錠20mg 「日医工」

アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物錠

【組成・性状】

1. 組成

A T P 腸溶錠20mg 「日医工」は1錠中アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物20mgを含有する。  
添加物として乳糖，トウモロコシデンプン，セルロース，ヒドロキシプロピルセルロース，ステアリン酸マグネシウム，タルク，メタクリル酸コポリマーLD，クエン酸トリエチル，酸化チタン，カルナウバロウを含有する。

2. 製剤の性状

本品は白色の腸溶性フィルムコーティング錠である。

販売名	形状			本体コード	包装コード	
	重量(mg)	直径(mm)	厚さ(mm)			
A T P 腸溶錠 20mg 「日医工」		223	8.3	4.6	n 162	n 162

【効能・効果】

- 下記疾患に伴う諸症状の改善  
頭部外傷後遺症
- 心不全
- 消化管機能低下のみられる慢性胃炎
- 調節性眼精疲労における調節機能の安定化

【用法・用量】

アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物として，1回40～60mgを1日3回経口投与する。  
なお，症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジピリダモール	ジピリダモールはATP分解物であるアデノシンの血中濃度を上昇させ，心臓血管に対する作用を増強するとの報告があるので，併用にあたっては患者の状態を十分に観察するなど注意すること。	ジピリダモールのアデノシン取り込み抑制作用により，ATP分解物であるアデノシンの血中濃度が上昇する。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
消化器	悪心，食欲不振，胃腸障害，便秘傾向，口内炎
循環器	全身拍動感
過敏症	痒痒感，発疹
精神神経系	頭痛，眠気，気分が落ち着かない
感覚器	耳鳴
その他	脱力感

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので，減量するなど注意すること。

4. 妊婦，産婦，授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕

5. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。

6. 適用上の注意

薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。（PTPシートの誤飲により，硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し，更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。）

【薬物動態】

溶出挙動

ATP腸溶錠20mg 「日医工」は，日本薬局方外医薬品規格第3部に定められたアデノシン三リン酸二ナトリウム水和物腸溶錠の溶出規格に適合していることが確認されている。<sup>1)</sup>

【薬効薬理】

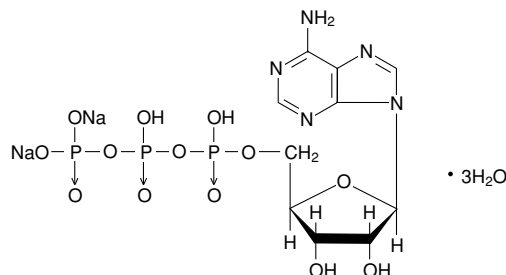
ATPは，8,000cal以上の自由エネルギーの産生される酸化還元電位差の場合，すなわち，NADよりFAD，チトクロームbよりc1，チトクロームa3よりO<sub>2</sub>への各転換に際して生成され，高エネルギーリン酸結合に備蓄されたエネルギーは生体の筋収縮，生合成，能動輸送，刺激伝達等の各作業要求に応じて放出利用される。<sup>2)</sup>

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物

(Adenosine Triphosphate Disodium Hydrate)

化学名：Adenosine 5'-(disodium triphosphate) trihydrate



分子式：C<sub>10</sub>H<sub>14</sub>N<sub>5</sub>Na<sub>2</sub>O<sub>13</sub>P<sub>3</sub> · 3H<sub>2</sub>O

分子量：605.19

性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で，においはなく，わずかに酸味がある。

水に溶けやすく，エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

\*\*安定性試験

長期保存試験（25℃，相対湿度60％）の結果より，ATP腸溶錠20mg 「日医工」は通常の市場流通下において2年間安定であることが確認された。<sup>3)</sup>

## 【包装】

### ATP腸溶錠20mg「日医工」

- 100錠 (10錠×10; PTP)
- 1000錠 (10錠×100; PTP)
- 1000錠 (バラ)

## 【主要文献】

- 1) 日医工株式会社 社内資料：溶出試験
- 2) 鈴木 旺ほか訳：ホワイト生化学〔I〕(1968)
- 3) 日医工株式会社 社内資料：安定性試験

## 【文献請求先】

主要文献欄に記載の文献・社内資料は下記にご請求下さい。

日医工株式会社 お客様サポートセンター  
〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21  
☎ (0120)517-215  
Fax (076)442-8948